

## 確かめよう 地震、火災、水害 あなたの避難場所を

天災は忘れたころにやってくる——いつ襲ってくるかわからない災害に備えて、ふだんから備えと心構えを家族みんなでよく話し合っておきましょう。市では災害が発生した場合の避難場所を定めています。あなたの近くの施設を確認しておきましょう。

大館地区			上川沿地区		
中央公民館	桜町南	42-4369	上川沿公民館	池内	42-0836
桂城小学校	水門町	42-2262	上川沿小学校	山館	49-6155
城南小学校	桜町	42-3295	下川沿地区		
城西小学校	城西町	42-3238	下川沿公民館	川口	49-0271
有浦小学校	有浦四丁目	42-2834	川口小学校	"	42-9762
第一中学校	北神明町	42-3089	下川沿中学校	"	42-9761
東中学校	有浦五丁目	42-2835	大館商業高校	片山三丁目	49-2020
大館鳳鳴高校	金坂後	42-0002	大館桂高校	餅田三丁目	49-1010
南高校	柄沢字狐台	42-0232	真中地区		
桂城公園	中城		真中公民館	出川	49-5928
長根山運動公園	東台		多目的集会所	"	49-0499
柳町児童公園	中町		二井田地区		
駅前児童公園	御成町一丁目		二井田公民館	二井田	49-4121
清水児童公園	御成町一丁目		南小学校	下川原	49-5518
中道児童公園	中道一丁目		南中学校	二井田	49-5516
御成児童公園	御成町二丁目		二井田中台公園	"	
昭和児童公園	幸町		十二所地区		
田町野球場	土飛山下		十二所公民館	十二所	52-3331
市民体育館	中城	42-0310	成章小学校	"	52-2818
青少年ホーム	三の丸	42-0872	成章中学校	猿間	52-3022
桂城スポーツ館	水門町	49-4277	花矢地区		
有浦スポーツ館	有浦四丁目	43-1710	花岡公民館	花岡町	46-1161
駅内地区			花岡小学校	"	46-1614
駅内公民館	駅内	48-2813	花岡中学校	"	46-3020
駅内小学校	駅内	48-2934	花岡体育館	"	46-2245
第二中学校	駅内	48-2935	大館工業高校	"	46-2833
大館東高校	獅子ヶ森	48-6007	前田公園	"	
駅内体育館	獅子ヶ森	48-4461	矢立公民館	白沢	46-2001
長木地区			矢立小学校	"	46-3012
長木公民館	上代野	48-3660	矢立中学校	"	46-3019
同雪沢分館	茂内屋敷	50-2119	長走小学校	長走	51-2367
長木小学校	上代野	48-6091			
雪沢小・中学校	雪沢	50-2038			



このたび大館市二井田字賢ノ里の安藤義雄さん宅内に、『安藤昌益石碑』（安藤昌益石碑再建の会・代表石垣忠吉）が再建された。昭和四十八年の秋、

『大館市史』編さん事業のため二井田一閑家から借用していた膨大な資料を、石垣忠吉さんが解説整理中に、「石碑銘」（仮称「掠奪手記」）を発見したことが、安藤昌益の晩年と二井田村を結びつけるきっかけとなった。安藤昌益は江戸時代中期に、封建社会が生んだいろいろな矛盾を指摘否定して、すべての人々が自然に即応して生きるべきであり、すべての人々が直耕（自然節理にもとづく農耕）することによって、不耕貧食の徒をなくし、生産と収穫を平等と

### 安藤昌益の石碑 220年ぶりに再建

する世を創造すべきであるという、それまでの世界には類のない哲学思想を創見した人として広く知られている。安藤昌益は宝暦八年（一七五八年）ごろに、それまでの活動の場であった南部八戸から、故郷二井田に移り住み、晩年をその思想の実践にうつしたと考えられ、当時の二井田の主だった人々がその門弟として記録されている。宝暦十二年（一七六二年）十月十四日、安藤昌益は病気のためその生涯を終えるが、残された門弟たちはその遺徳を

しのび、安藤昌益の家伝とその思想を刻んだ石碑を伊勢堂古社地（寄木堂）このたび石碑が再建された付近）に建立した。しかし、時代はこの石碑を認めず破却し、いつしか二井田の人々からも忘れられてしまった。このたび再建された石碑は、発見された「石碑銘」文書をもとに、破却された石碑と同じ碑文を刻みつけたもので、破却後二百二十年ぶりの再建立となったものである。

大館市役所  
市史編さん係

### 市長の 対話ノート



No.70

#### 米価を問う

要求米価を支持する市政の考え方を市民の皆様とともに確認しあうとともにご理解をお願いします。

- ① 米価の決定は生産費、所得補償方式が原則となっております。すなわち標準農家が、米価で再生産と生活が補償されなければならないことです。
- ② 米価が、豊凶が、大館市経済に及ぼす影響は、二年連続の冷害で痛いほど知っておるところであります。
- ③ 生産者米価が上れば消費者米価への連動との考えは誤りで、これは食糧法の理念からして国民の食糧生命を守る観点からも、連動こそ阻止しなければなりません。
- ④ 今、農林水産大臣さえ、今年の米価について「昨年とは米価を取り巻く環境が違っており、米価を据え置くのは難しいと思う」と言っている時期でもあります。
- ⑤ 議会でも農協の米価値上げの陳情を満場一致で採択されております。市政は世論の産物であります。世論を無視した市政は一人歩きする市政であり、誰もが認めてくれないでしょう。実質四年間も米価は据置かれ、この中に冷害をかかえる経過と合せ考えるならば、要求米価実現こそ当面する重要な市政要求であると考えます。

留山健治郎